

まちづくりに 求められること

座間市の現状や、みなさんからの声などをもとに
これからのまちづくりに必要なことを整理しました。

✓ まちの活力

仕事と生活の環境を良くして、
座間市を積極的にPRできる
にぎわいづくりをしよう!

✓ まちの安全・安心

防犯や交通安全などに加えて、
自然にやさしく、災害に強い
まちづくりを進めよう!

✓ 市民主体のまちづくり

市民一人一人が心身ともに
健康に暮らし、活躍できる
環境づくりをしよう!

✓ 地域コミュニティ

みんなで協力して
地域の交流を生み出して
地域を活性化させよう!

✓ 快適な都市環境

使う人たちの声を聞きながら、
便利で快適なまちづくりを
進めよう!

✓ 成長し続けるまち

子どもたちがすくすく育ち、
誰もが暮らしやすい
成長し続けるまちになろう!

どんなまちづくりをしていくか、ここをめぐってみよう!

～ざま未来プラン×じぶん8年プラン～

8年間をおもいえがいてみよう!



ガイドブック

✎ 8年後の自分自身を想像してみよう! (何歳で、何をしているなど)

✎ 8年後に向けた、じぶん8年プラン(予定や希望)を作ってみよう!

年後 ())
 年後 ())
 年後 ())

✎ 自分や座間市の目標を実現するために、どんなことができるか
考えてみよう!

多様な主体と共に創る「共創」のまちづくり、目標を意識したまちづくり、
新たな社会情勢と地域課題に対応した持続可能なまちづくりの三つの基本
姿勢で、「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」の実現を目指してまいります。
一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



座間市長
佐藤 弥斗



第五次座間市総合計画
基本構想
2023 - 2030

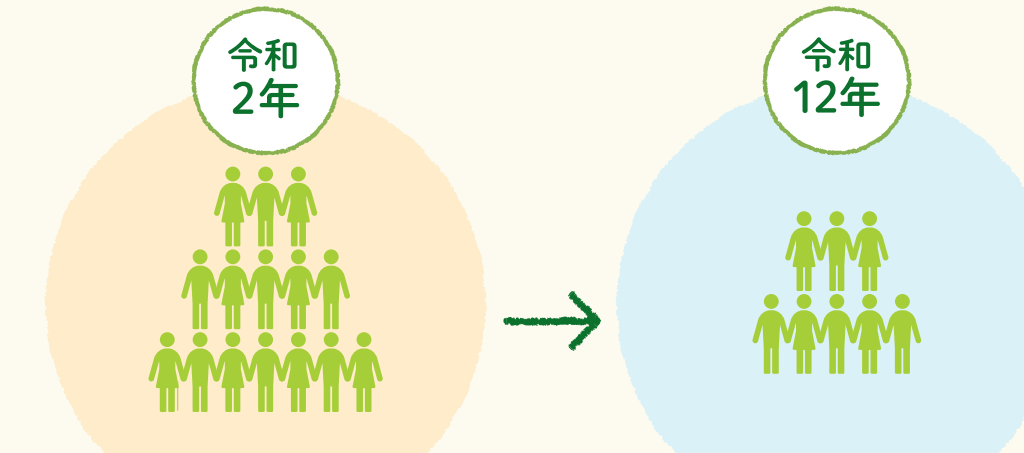
ざま未来プランって何?

ひとりひとりの、
「こんな“ざま”になってほしい」思いをもとに、
みんなで
「こんな“ざま”にする」ことをまとめたものが、
ざま未来プランです。

みなさんの思いが詰まった大きな目標
「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」
これが座間市の目指すまちの姿です。

座間市は どうなるの?

日本は少子化により人口が減少していく問題に直面しています。
人口減少と同時に、65歳以上の高齢者が増え、15歳未満の子ども
が減る社会になり、座間市も同じ状況になると予測しています。



座間市全体の人口	: 132,325人	→	130,241人
65歳以上の人口	: 33,638人	→	35,610人
15歳未満の人口	: 14,957人	→	13,032人

人口減少、少子高齢化がこのまま進むと...

- ひとやまちは
- 働く人が少なくなり、会社やお店が減っていく
 - 地域の担い手(リーダー)がいなくなり、防災、防犯などの
助け合いが難しくなる
 - 市の収入が減り、公園や道路などが維持できなくなる



その結果、座間市の未来は...
快適な暮らしができなくなり、まちに輝きがなくなってしまう。

分野別政策・施策

まちづくりを進める7つの大きな目標



共に学び、健やかに育つまちづくり

●子ども・子育て ●保育・幼稚園 ●小・中学校



地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり

●シティプロモーション ●市民協働 ●産業振興



安全・安心で環境にやさしいまちづくり

●交通安全 ●防犯 ●環境保全 ●防災・減災 ●脱炭素 ●資源循環 ●消防



健康に暮らせるまちづくり

●健康医療 ●スポーツ ●生涯学習 ●文化芸術



共に認め合い、支え合うまちづくり

●地域福祉 ●高齢者・障がい者支援 ●介護保険 ●自立支援



緑あふれる快適なまちづくり

●都市計画 ●市街地整備 ●緑・公園 ●道路 ●上下水道



持続可能な行財政運営

●行政 ●情報 ●基地 ●デジタル ●多様性 ●財政 ●資産経営

わたしたち

座間市が目指す
まちの姿

ひと・まちが輝き 未来へつなぐ

令和12年度までの目標



まちづくりの基本姿勢

目指すまちの姿の実現のために、次の三つをまちづくりの基本姿勢として取り組んでいきます。

多様な主体と共に創る「共創」のまちづくり

目標を意識したまちづくり

新たな社会情勢と地域課題に対応した持続可能なまちづくり

輝く未来戦略

優先的に進める3つのこと

“ひと”が輝く

ひとがつながり、市民力が高まり、
一人一人が活躍するコミュニティを
目指します。



“まち”が輝く

暮らしに喜びがあふれ、
快適に住み続けられるまちを
目指します。



“未来へつなぐ”

子どもたちの夢が叶えられる、
希望にあふれる社会を
目指します。

